啓発フロア



参加型シアター

情報コーナー・環境学習KIOSK

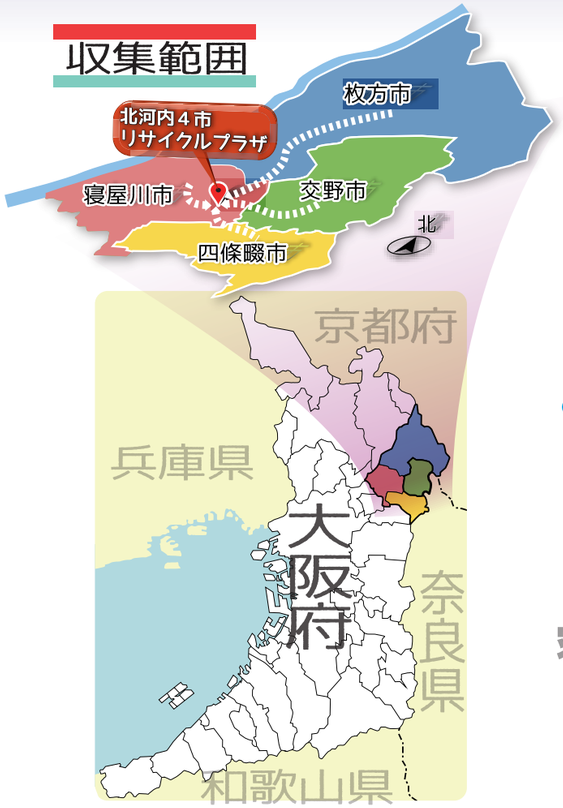


自転車発電体験コーナー・エコ生活支援パネル



施設管理棟の２階には、地球温暖化などの環境問題のこと、身近なごみや暮らしに役立つエコロジーのことなどを、ゲームやシアターで楽しく学べるフロアがあります。

収集範囲



案内図



施設概要

名　　称	北河内４市リサイクルプラザ　（愛称：かざぐるま）
所 在 地	大阪府寝屋川市寝屋南一丁目７番１号
敷地面積	4,840㎡
施設構造	管理棟 鉄筋コンクリート造３階建
	処理棟 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造４階建
建築面積	2,063㎡
延床面積	管理棟　　601㎡（渡り廊下含む）
	処理棟　4,017㎡（計量機含む）
	合　計　4,618㎡
竣　　工	平成19年12月31日
処理能力	53ｔ／日（11時間稼働）
処理対象	ペットボトル・プラスチック製容器包装
処理概要	選別・圧縮梱包処理

敷地配置図



※「かざぐるま」は、公募により選考採用された北河内４市リサイクルプラザの愛称（ニックネーム）です

http://kazaguruma.or.jp/

かざぐるま
北河内４市リサイクルプラザ

北河内４市リサイクルプラザ

HirakataCity　NeyagawaCity　KatanoCity　ShijonawateCity





北河内４市リサイクル施設組合

北 河内4市リサイクルプラザ「かざぐるま」は4市が協力してペットボトルとプラスチック製容器包装のリサイクルに取り組む施設です

かざぐるま 北河内4市リサイクルプラザ

北河内４市リサイクルプラザ「かざぐるま」は、枚方市･寝屋川市･四條畷市･交野市の各家庭から資源ごみとして出されたペットボトルとプラスチック製容器包装を、燃やしたりせず、間違って出されたリサイクルできないものを取り除き、ペットボトルとプラスチック製容器包装に分けて運搬しやすいように圧縮･梱包する施設です。

施設には、作業の様子を見学できる通路のほか、環境問題などを映像やゲームで学習できる啓発フロアがあります。

処理対象

プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装のリサイクルには、材料リサイクル（マテリアルリサイクル）やケミカルリサイクルなどがあります。材料リサイクルプラスチック製のものに、ケミカルリサイクルはプラスチック以外の原料として再生利用されます。

ペットボトル

定規などの文具や、シャツやカーペットなどの繊維製品に再生されたり、新しいペットボトルに生まれ変わったりします。

PET

ごみを減らす４つのR（アール）

Refuse（リフューズ（辞退、拒否））
ごみを減らすために断る
・過剰包装を断る
・エコバッグを使用しレジ袋を断る

Reduce（リデュース（発生抑制））
ごみになるものを減らす
・最後まで使い切る
・詰め替え商品を使うことによりごみを減らす

Reuse（リユース（再使用））
無駄な買い替えは控える
・修理などをして繰り返して使う
・フリーマーケットやバザーを活用する

Recycle（リサイクル（再生利用））
資源として再利用する
・資源になるものはきちんと分別する
・再生品を選んで資源を大切にする

環境保全対策

悪臭対策

残渣（ざんさ）などから発生する悪臭は、施設内と外界を遮断して施設内空気の漏えいを防ぐとともに、各所で吸引し集じん・活性炭吸着装置で浄化した上で屋外に排気しています。

高速シートシャッター



搬入物を貯留ピットへ投入するときだけゲートを開け、ピット内の空気の漏えいを防いでいます。

集じん・活性炭吸着装置



施設の各所で吸引した空気は、この装置を通過し、活性炭で浄化されます。

排出空気の連続測定

集じん・活性炭吸着装置を通過した空気は４階のチャンバー室（消音室）から屋外へ排気しています。

排出空気測定器を使い、チャンバー室の空気のTVOC（総揮発性有機化合物）とトルエンを24時間連続測定し、その結果を掲示しています。

環境監視モニタ



リサイクルプラザの設備と処理の流れ

